

第385回 昭和の森 自然観察会

葉っぱの切り絵でオリジナルしおりを作ろう

高森咲愛（松戸市）

日 時：2024年8月11日（日）10～12時

場 所：昭和の森管理事務所

参加者：12名（大人8名 子ども4名）、指導員3名、事務所1名、計16名

担当指導員：佐野・高森

昭和の森管理事務所の2階で「葉っぱの切り絵でオリジナルしおりを作ろう」が実施されました。

初めに約10種類の葉っぱ（クヌギ、エノキ、クズ等）を観察してもらい、リーフアートに適した葉っぱを選んでもらいました。葉に厚みがあり比較的平らな葉であるアオキとサンゴジュが適しています。多くの参加者が正解していました。すごい。

次に今回のリーフアートの材料であるサンゴジュに関するクイズを2つ出題して、珊瑚のような赤い実をつける事からサンゴジュという名前が付いたこと、水分を多く含んでいるので普段の生活の中では火事が広がるのを防ぐ目的で役立っている事を学びました。クイズ出題の際には、花瓶に挿したサンゴジュを見てもらい 実や葉を観察しました。

実演をしながら注意点を説明し、まずは練習として星の形に挑戦してもらい、その後「クマ」「ウサギ」「キツネ」から各々好きなものを選んでリーフアート本番スタート。早くに切り取り終わって時間のある参加者には目や耳、毛並みなど、下書きをしていない細かい部分の切り取りにも挑戦してもらい、大人から子どもまで様々な発想で自分だけのしおりを作りました。

最後に、仕上げた作品を手押し式のラミネートはがきである「とじこめーる」にはさみ、記念にしてもらい完成となりました。

「楽しかった」や「葉っぱで切り絵をするのは初めてだった」や「各参加者のアレンジに感動した」等の感想をいただき、とても楽しいムードの中、森のリーフアーティストうけさん的作品を見てもらい、リーフアートを通じて森や木に興味・関心を持ってもらうため、全ての作品が、森や木に関する作品であることを説明し、集合写真を撮って 観察会が終了しました。

参加者の安全を考慮し冷房の効いた屋内での実施、デザインカッターの基本的な使い方や注意点を実演しながら説明するなどの工夫もあり、体調不良や負傷者もなく無事に終了することができ良かったです。

